

【2025年度】児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

| | | | | | 公表年月 | | 2026年2月 | 事業所名 | ハッピーライフみなみおおさか | |
|--------------|----|--|-----|---------|--|--|---|---|----------------|--|
| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 | | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 活動内容によって空間を区切るなど、利用している子どもたちがやりたい活動ができるように工夫しています。 | | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | | ○ | 必要時は、保護者様や保育園・幼稚園等にご相談させていただき送迎時間の調整を行っています。 | 介助が必要な児童が複数名利用されているため、スタッフの手が足りない場面も見受けられる。必要に応じて、他事業所から応援に来てもらうなどスタッフの増員を心掛けています。 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | | 玄関先に段差があるため、マットなどを活用して子どもたちが玄関の使用時以外に行くことがないようにしています。 | マットを使用しているが、活動の際に倒れてしまうなど危険な部分も見受けられるため、活動の妨げにならないようなサークルを使用していくなど検討しています。 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | | 終業後に毎日掃除を徹底しています。また、必要に応じて掃除を行うなど意識しています。 | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | | 活動室とは別にクールダウンできる場所の確保もしています。 | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | 全スタッフで声掛けや話し合いを行い、情報伝達を行っています。 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 面談や送迎時にヒヤリングを行い、保護者様のニーズや希望等を確認しています。 | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 常時コミュニケーションを図りながら、疑問に思ったことなどを話し合っ業務改善に努めています。 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 年度変わりに保護者様や従業員に向けてアンケートを実施して、ご意見をいただいた内容について業務改善に繋げています。 | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | | 虐待防止研修など定期的に研修を実施しています。また、年間の研修予定スケジュールを活用するなど自己研鑽にも努めています。 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | スタッフ間で話し合いを行い、支援プログラムを決定しています。 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。 | ○ | | | 面談や送迎時等でヒヤリングを行い、保護者様のニーズや希望等を確認して個別支援計画に反映しています。 | | | | |
| | 13 | 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | スタッフ間で定期的にモニタリング会議などを行い、保護者様からのニーズ等や施設での様子など情報共有をしてから検討しています。 | | | | |
| | 14 | 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | 全スタッフが個別支援計画書を確認して、同じ方向を向いて支援が行えるように心掛けています。 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | 既定のアセスメントシートを活用して、日々の利用記録とともに確認を行っています。 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 16 | 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | | 面談等で保護者様や本人の意向も確認しながら、各項目においてスタッフ間で検討し、できる限りの具体的な支援を設定しています。また、支援項目については保護者様からの確認も行いながら決定しています。 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | | | スタッフ間だけでなく、利用している子どもたちや保護者様からもご意見やご希望をお聞きしながら検討しています。 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | | ○ | | | 土曜日や長期休みなどには、様々なイベントを用いながら工夫しています。 | 平日に関しては、来所時間がバラバラなこともあり活動時間的な部分から基本的には同じ遊びが中心となってしまっています。しかし、集団遊びや時間があるときには近隣公園や貸農園に出かけるなど固定化しないように工夫しています。 | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | | | 個別活動も大事にしながら、集団活動の楽しさを知ってもらえるように活動内容(おもちゃや遊びなど)を検討して支援を行っています。 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | | | 朝礼や終礼を毎日行っており、その日にあったことをスタッフ間で情報共有を行い、連携を図っています。 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | | | 朝礼や終礼を毎日行っており、その日にあったことをスタッフ間で情報共有を行い、ヒヤリハットも含めた「気付き」についても共有を行っています。 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | | | 日々、業務日報に共有が必要な内容を記入するなど全スタッフが確認できるようにしています。 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | | 面談前後にて前回の個別支援計画書の見直しのためスタッフ間でモニタリングを行い、保護者様からのニーズと照らし合わせて検討しています。 | | | |
| | 24 | 【放デイ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | | | | | | | | |
| | 25 | 【放デイ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | | | | | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | | | スタッフ間で話し合ったことも含めて、事業所内から代表者を選出して参加しています。 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | | 医療的ケアを必要とする児童も利用しているため、訪問看護や訪問リハビリ、主治医なども連携を図りながら支援を行っています。 | | | |
| | 28 | 【放デイ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 | | | | | | | | |
| | 29 | 【放デイ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | | | | | | | |
| | 30 | 【放デイ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | | | | | | | |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|----|-----|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 31 | ○ | | 必要に応じて保育所や幼稚園等に連絡をして情報共有を行っています。 | |
| | 32 | ○ | | 必要に応じて就学前のケース会議などに参加するために学校を訪問させていただきなど連携を図り、情報交換や相互理解に努めています。 | |
| | 33 | ○ | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。 | |
| | 34 | | | | |
| | 35 | | | | |
| | 36 | ○ | | ハロウィンなど大きなイベントの際に他のデイサービスや地域の商店街にご協力をいただき、一緒に活動できるように行っています。 | ご協力いただくデイサービスや商店街の代表者により綿密な打ち合わせを行い、活動時間の確保等の調整を行ってまいります。 |
| | 37 | ○ | | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。 | |
| | 38 | ○ | | 家族が受講した研修内容から保護者様の悩みの解決につながる可能性のある研修に関しては、保護者様向けに開催を行い、情報共有しています。 | |
| | 39 | ○ | | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。 | |
| 保護者への説明等 | 40 | ○ | | 個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。 | |
| | 41 | ○ | | 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。 | |
| | 42 | ○ | | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。 | |
| | 43 | | ○ | | 面談時や保護者アンケートでもご要望があるもののいまだ交流の場を設けるに至れていない。保護者様のご都合も考慮しながら保護者参加型のイベントや保護者カフェなど交流の場を設けていきます。 |
| | 44 | ○ | | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。 | |
| | 45 | ○ | | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。 | |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 改善内容又は改善目標 |
|----------|----|----|-----|--|---|
| 保護者への説明等 | 46 | ○ | | 書類等に関しては、鍵付きのロッカー等を使用して保管しています。また、管理者の発信により個人情報の取り扱いについての注意喚起を都度行っています。 | |
| | 47 | ○ | | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。 | |
| | 48 | ○ | | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。 | ご協力いただくデイサービスや商店街の代表者により綿密な打ち合わせを行い、活動時間の確保等の調整を行ってまいります。 |
| 非常時等の対応 | 49 | ○ | | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。 | |
| | 50 | ○ | | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている。 | |
| | 51 | ○ | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。 | |
| | 52 | ○ | | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。 | |
| | 53 | ○ | | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。 | |
| | 54 | ○ | | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。 | |
| | 55 | ○ | | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。 | |
| 保護者への説明等 | 56 | ○ | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。 | |
| | 57 | ○ | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。